



日本語

能力测试考点解析

一级读解篇

主审 細木洋 長山優子

编著 崔崑 赵世海 朱佳

★ 掌握答题技巧

★ 考前强化训练

★ 最新真题详解

★ 突破考点难点



東南大學出版社
SOUTHEAST UNIVERSITY PRESS

日本語能力测试考点解析

一级读解篇

主 审 細木洋 長山優子
编 著 崔 崑 赵世海 朱 佳

东南大学出版社

内容提要

本书分为总序、目录、概述、试题、试题解答解说、参考答案等。所用资料均选自于日本最新出版的有关日本语能力测试的参考资料、模拟试题及相关材料。本书的编写思路是建立在对历年日本语能力测试研究与总结基础之上。书中的概述部分对该部分的内容、特点、重点、注意事项等进行了细致的分析和高度概括。本书的“试题解答解说”是本书的核心部分。除了给出正确选项外,还对该题进行了入木三分的解读,力图使考生和读者知道考点是什么、如何答题、怎样才能加快答题速度。相信通过本书的学习,读者能在考前做好充分准备,并在最短的时间内提高日语整体实力,顺利通过考试。

图书在版编目(CIP)数据

日本语能力测试考点解析·一级读解篇/崔崑,赵世海,朱佳编著.
—南京:东南大学出版社,2006.3
ISBN 7-5641-0299-3

I. 日... II. ①崔... ②赵... ③朱... III. 日语—阅读教学—水平
考试—自学参考资料 IV. H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 020376 号

日本语能力测试考点解析·一级读解篇

出版发行 东南大学出版社
出 版 人 宋增民
社 址 南京市四牌楼 2 号
邮 编 210096
电 话 (025)83793329(办公室)/83362442(传真)/83795801(发行部)
83791830(邮购)/57711295(发行部传真)
网 址 <http://press.seu.edu.cn>
电子邮件 liu-jian@seu.edu.cn

经 销 全国各地新华书店
印 刷 大连华伟印刷有限公司
开 本 787mm×960mm 1/16
印 张 10.875
版 次 2006 年 4 月第 1 版第 1 次印刷
印 数 1—5000 册
定 价 15.00 元

* 未经本社授权,本书内文字不得以任何方式转载、演绎,违者必究。

* 东大版图书若有印装质量问题,请直接向发行部调换,电话:025-83795801。

• 总 序 •

日本語能力测试是日本国际交流中心和日本国际交流学会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试。自1984年开设以来,每年12月在全世界几十个国家和地区同一时间举行。规模之大、参加人数之多,是仅次于GRE的国际型考试,俗称为JRE。

近年来,随着我国整体实力的增强、国际交往的日趋频繁,日语越来越受到社会各届的青睐。日本語能力测试不仅能检验日语学习者的日语能力,而且其中高级证书——一、二级合格证书,还在升学、求职、留学等场合发挥重要的作用。为了满足社会各界及日语学习者的需要,我们编写了这套《日本語能力测试考点解析》。

全套书共分八册,一级四册:《日本語能力测试考点解析一级文字·词汇篇》《日本語能力测试考点解析一级听解篇》《日本語能力测试考点解析一级读解篇》《日本語能力测试考点解析一级文法篇》;二级四册:《日本語能力测试考点解析二级文字·词汇篇》《日本語能力测试考点解析二级听解篇》《日本語能力测试考点解析二级读解篇》《日本語能力测试考点解析二级文法篇》。

每册分为总序、目录、概述、试题、试题解答解说、参考答案、参考文献等。与同类书相比,本书有以下几个特点:

1. 选材新颖。本书所用资料均选自于日本最新出版的有关日本語能力测试的参考资料、模拟试题及相关材料。
2. 画龙点睛。每册的概述部分都对该部分的内容、特点、重点、注意事项等进行了细致的分析和高度概括。
3. 深入浅出。每册的“试题解答解说”是本套书的核心部分。除了给出正

确选项外还对该题进行了入木三分的解读。力图使考生和读者知道考点是什么、如何答题、怎样才能加快答题速度。

4. 针对性强。编撰本套书的目的十分明确——通过阅读本套书,使读者顺利通过日语能力测试一、二级。因此,本套书的编写就是根据日语能力测试一、二级的各项内容来安排的。

5. 使用方便。全书虽分为八册,但它们又是互相联系的一个整体。读者可以根据自己的情况有重点、有主次地分步练习,也可以按照二级→一级的顺序,由浅入深地学习。

我们真诚希望通过本套书的学习,读者能在考前做好充分准备,并在最短的时间内提高自己的日语整体实力,顺利通过考试。

崔 崑

2006 年 3 月

• 目 录 •

一、読解概述	1
二、一級読解試題	3
第一单元	3
第二单元	13
第三单元	24
第四单元	35
第五单元	47
第六单元	57
第七单元	67
第八单元	76
第九单元	87
第十单元	100
三、一級読解試題解答解説	111
第一单元	111
第二单元	116
第三单元	122
第四单元	127
第五单元	133
第六单元	138
第七单元	142
第八单元	147
第九单元	152
第十单元	159
四、参考答案	165
参考文献	169

一、读解概述

(一) 读解概述

读解(或说阅读理解)部分是日本语能力测试中最重要的一项,也是分值较多的一部分。它的目的是测试应试者对阅读文章的理解能力,即从篇章的角度测试应试者的语言综合运用能力、理解能力及掌握语言的熟练程度。

读解题要求以较快的速度(每分钟约 200 个字)阅读一般题材(科普、社会、文化、史地、风俗、人情等)和各种文体(说明文、叙述文、应用文、议论文、散文等)的短文。

1. 读解题的要求一般是:

- (1) 理解文章的中心和大意。
- (2) 掌握用以阐述文章中心的事实和有关细节。
- (3) 依据文章中的信息进行判断和推测。
- (4) 领会文章作者的观点和意图。

读解题的特点是题量大、题材广泛、测试点多。

2. 阅读量(以 2004 年试题为例):

一般由一篇较长的文章(或某篇文章的部分章节)和九篇较短的文章(或部分段落)组成,共约 12,000 字,21 问。

3. 题材:

文章题材广泛,涉及到日本的方方面面。如政治、经济、社会、文化、教育、体育、科学、技术、风俗、人情、历史、地理等。

4. 测试点:

- (1) 指示代词的指代内容。
- (2) 重点词句。
- (3) 文章的大意、主旨。
- (4) 文章逻辑关系的来龙去脉。
- (5) 文章细节的把握。
- (6) 辨析语法。

(二) 出题形式

读解题一般是给出一篇文章,随后就文章的内容提出问题(上述几方面测试点)。

读解的文章形式、篇幅及设问数目每年略有调整。下面以 2004 年度二级读解题为例,

介绍其出题形式。该题分为「問題Ⅰ」、「問題Ⅱ」、「問題Ⅲ」三部分。「問題Ⅰ」为一篇较长的文章,共六问。「問題Ⅱ」由三篇文章组成共十问。「問題Ⅲ」由五篇短文组成,每篇短文各有一问或两问。「問題Ⅰ」、「問題Ⅱ」、「問題Ⅲ」的每问中各有四个选项,考生应从中选择一个正确答案。

(三)测试点分析

现将读解答题测试点分析如下:

1. 对重点词句的理解(如接续词、副词等)。
2. 对作者观点、意图的领会。
3. 对文章中心的把握。
4. 对文章中细节的理解。
5. 对文脉的理解。
6. 对指示代词指示内容的掌握。

要做好读解答题,最重要的是读懂文章、读懂问题。首先通读一遍文章及文章后所列出的问题,然后再细看文章,做出正确的判断。

二、一級読解試験

第一单元

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

100年ほど前にあたる1900年のとき、地球上の人口はおよそ16億人であった。それが現在、55億人になっている。私たちが金魚鉢の金魚だと思えばよい。3匹の金魚が突然3.5倍の11匹に増えれば水が濁るように、3.5倍も人口が増えれば環境に何らかの悪い影響が出るのは当然であろう。この人口のまま止まればまだよいのだが、(中略)たいへんな勢いでまだ増え続けている。1991年での世界人口の増加率は1.7%と推定されているが、それで計算すると、人口は40年間で倍増することになる。この増大傾向の修正のためには、地球上の私たち全員のライフスタイルの見直しが急務である。それにはどのような課題があるのだろうか。(中略)1つは私たち全員の価値観の問題である。伝統的価値観として「子沢山」が望ましいと見なす民族は世界でも少なくない。私たちの民族もそうである。子沢山を祝福する気持ちが私たちの国では現在でもあり、にぎやかな家庭の幸福像を描きがちである。1989年に、1人の女性が一生の間に平均して何人の子供を産むかという合計特殊出生率が1.57になったときに、1.57ショックといって大騒ぎになった。その騒ぎも、この価値観と関連している。そのときに、子供が1人ではかわいそうだ、日本の将来の労働力の減少をどうするのか、というような指摘があった。自民族の人口の減少に対する警戒心はたいへん強いのである。もちろん、ここでは国や民族レベルでの議論をしているのであって、個別の家族の子沢山の是非を論じているのではない。

2つ目の問題は社会システムの問題である。とくに貧困と差別について考える必要がある。国の経済力不足などで国の社会保障が十分でないと、老後などを心配して国民はある人数の子供をつくろうとする。また、貧しい家族は子供に家族の労働力を期待して子沢山になる傾向が見られる。

さまざまな差別が人口に関わるライフスタイルに影響を与えるが、とくに男女差別は直接的な影響を与える。環境と開発に関わる世界委員会がまとめた「地球の未来を守るために」(Our Common Future)は女性の地位の向上が子供数の減少につながると指摘し

たが、これは大切な指摘であろう。女性の地位が向上すれば、家族内での子供を産むかどうかということについて女性の発言権が増大し、そのような社会^⑤においては子供の数が減少する。また、女性の雇用機会が十分に与えられている社会では、婚姻年齢^(注3)が上昇し、そのことが子供数の減少につながっているという。

(鳥越皓之編『環境とライフスタイル』有斐閣アルマによる)

(注1) ライフスタイル:生活する上での価値観や考え方、生活様式

(注2) 子沢山:子供の数が多いこと

(注3) 婚姻:結婚

【問1】 ①「この人口のまま止まればまだよい」とあるが、どういう意味か。

- 1 人口はまだ勢いよく増えているから環境を守ることができる
- 2 人口の増加率が現在と同じ程度であれば環境への影響はない
- 3 今以上に人口が増えなければ環境の悪化もそれほどではない
- 4 人口が100年前と同じ16億人であれば環境への影響はない

【問2】 ②「ライフスタイルの見直しが急務である」とあるが、どうしてライフスタイルを急いで変える必要があるのか。

- 1 ライフスタイルを変えれば、人口の増加率を低くしていくことができるから
- 2 ライフスタイルを変えれば、人口が増えても環境に悪い影響を与えないから
- 3 ライフスタイルを変えれば、食料生産が間に合って生活が豊かになるから
- 4 ライフスタイルを変えれば、日本でも子供の数を増やすことができるから

【問3】 ③「その騒ぎも、この価値観と関連している」とあるが、どういうことか。

- 1 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供は要らないという現在の家族観に合致するということ
- 2 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供の数が多いうほうがよいという伝統的な家族観に反するということ
- 3 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供は要らないという現在の家族観に反するということ
- 4 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供に数が多いほうがよいという伝統的な家族観に合致するということ

【問4】 ④「国民はある人数の子供をつくろうとする」とあるが、どうしてそうするのか。

- 1 国全体で老人より若い世代が多いほうが、労働力が豊かでいいと考えるから
- 2 平均寿命が短いので、子供もたくさんつくっておいたほうがいいと思うから

- 3 親が死んだあとに、子供が一人残ってしまうのはかわいそうだと思うから
- 4 何人か子供がいれば、年を取ってから世話をしてもらえると考えるから

【問5】 ⑤「そのような社会」とあるが、どういう社会か。

- 1 夫が子供の数を決められる社会
- 2 男女差別がまだ強く残っている社会
- 3 妻の意見が尊重される社会
- 4 老後の保障が十分でない社会

【問6】 この文章のまとめとして最も適当なものはどれか。

- 1 日本の女性が一生の間に産む子供の数が1.57人にまで減ったのは、国や民族の存続に関わる大きな問題だ。
- 2 人口の増大傾向を止めるには、子沢山を望ましいとする価値観を変え、貧困や男女差別をなくす必要がある。
- 3 家庭内の女性の地位が向上し、女性の雇用機会が十分あれば、男女差別もなくなるし環境問題も解決できる。
- 4 地球の環境を守るためには、人口増加率をおさえて100年前の16億人程度にまで減らさなければならない。

問題Ⅱ 次の(1)から(4)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。(2004年真题)

(1)日本には、「湯水のごとく使う」という言い方がある。「金などを湯や水を使うように、考えなしに、^①どんどん使ってしまう」という意味である。

日本では、昔から水が異かだと考えられてきた。雨も多いし川も多い。特に東京や大阪など大きな川のそばにある都市では、あまり水に不自由しなかった。

また、日本人は風呂が好きである。たっぽり入れた湯につかり、その湯を^(注1)どんどん使って体を洗う。実に気持ちのいいものだ。

しかし、最近では、「湯水のごとく」という言い方は、^②ちょっと待ってくれという感じになってきた。世界の至る所で水が不足しているのである。日本のような国は例外で、大きな川の流域では、川の水をめぐって国同士が争っているほどである。雨が降らず、作物が全くとれない国も多い。

さらに、温泉を別にすれば、湯をわかすには燃料が必要だ。石油にしてもガスにしても、決して無限ではない。また、それらを燃やした時に出る^(注2)二酸化炭素は、地球温暖化の

原因とされている。

もはや、日本人は、湯や水を、文字通り「湯水のごとく」使えなくなっているのである。

(注1) つかる: 入る

(注2) 二酸化炭素: CO₂

【問1】 ①「湯水のごとく」という表現の背景には、日本人のどのような考え方があるか。

- 1 水はたくさんあるので、気にしないでいくら使ってもいい。
- 2 水はたくさんあるが、大切に使わなければならない。
- 3 お金も水も気にしないでどんどん使ったほうがいい。
- 4 お金も水と同じように、他人に分け与えるべきだ。

【問2】 最近では、なぜ「ちょっと待ってくれ」という感じなのか。

- 1 日本は、水を得るために他の国と争うようになったから
- 2 最近、日本では、昔ほど風呂で湯水を使わなくなったから
- 3 日本では、雨が少なくなって、水が不足してきているから
- 4 多くの国で水不足になっており、水の大切さを認識すべきだから

【問3】 湯を「湯水のごとく」使えなくなった理由として正しいものはどれか。

- 1 地球温暖化の影響で、湯の量が減っているから
- 2 温泉を作るために、石油やガスなどの燃料をたくさん使うから
- 3 温泉から出る二酸化炭素は、地球に悪い影響を与えるものだから
- 4 水を湯にするために使う石油やガスは、いつかなくなるものだから

(2) 克服することが難しい障壁^(注1)があるときに、当初の目標の達成を断念^(注2)して、その代りに、もとの目標と類似した他の目標を達成することによって、要求の充足^(注3)をはかることを代償行動という。テニスが雨のためできなくなるとピンポンをしたり、A社に入社できなかった学生が、それと同じ系統のB社に入社して満足するようなものである。A子との恋が実らなかったのも、A子にどこことなく似たところのあるB子と親しくなったというのも同じである。以上のようなときBはAに対して代償価をもつ^①という。BがAに比べて達成するのが非常に容易であったり、価値的に低いものであれば、Bを達成してもAに対する代償にはならない。BがAに類似し、Bを得ることの困難度が、Aを得ることの困難度よりも大きい、あるいは、違いがないときに代償価は大となる。つまり(②) 気持ちになるのである。

しかし代償行動はいつでも生ずるものではない。当初の目標を指向する要求が強く切実な場合には代償行動による満足は生じがたい。ただの遊び相手ならそれを失ってもほかのものによって代償満足が得られても、真剣な恋の場合にはほかの人では代えられないのである。ほかの人で代わりになるような関係であれば、本当に好きとはいえないのである。

(託摩武俊『好きと嫌いの心理学』講談社による)

(注1) 障壁: じゃまになるもの

(注2) 断念: あきらめる

(注3) 充足: みたす

(注4) 指向する: 目指す

【問1】 ①「代償価をもつ」を表している発話の例として最も適当なものはどれか。

- 1 「本当はあっちが欲しかったんだけど、ちょっと手が出ないな。しかたがない、こっちで我慢しとこうか。これもけっこういいね。」
- 2 「本当はあっちが欲しかったんだけど、こっちでもいいかと思って、こっちにしちゃった。でも、これじゃ、やっぱりだめだね。」
- 3 「本当にあっちが欲しかったので、他のものには目もくれずに、ずっと我慢していたんだ。よかったよ、待っていて。」
- 4 「本当はあっちが欲しかったんだけど、実はこっちにも目をつけていたんだ。どっちも手に入るとはね。」

【問2】 (②)に入るものはどれか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 Bを得たことでAを失ったような | 2 Aを得たことでBを失ったような |
| 3 Aを得たことでBを得たような | 4 Bを得たことでAを得たような |

【問3】 ③「ほかの人でも代わりになるような関係」とはどんな関係か。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 代償行動の要求を強く持つ関係 | 2 代償行動では満足できない関係 |
| 3 代償行動で満足できる関係 | 4 代償行動に至らない関係 |

(3)日本語の大きな特徴には、母音が多いということ以外に、唇をあまり使わずに、口の奥で構音する(言葉をつくる)という点もある。つまり、口元を動かさずに、喉で言葉をつくっている感じだ。だから、日本語をしゃべっていると、能面とかポーカークフェイスといわれる無表情な顔になる。外国人にとっては、これがすごく不気味に思えるらしい。

(中略)

試しに、鉛筆かボールペンか何かを、横向きにくわえてしゃべってみよう。

日本語だとちゃんと聞きとれるようにしゃべれるが、例えば英語だと、何言ってんだかわからなくなる。日本語は口の奥で構音するが、英語などは口の先^(注4)つぽで構音するからだ。口の先^(注4)つぽに「口かせ」をはめられちゃうと、どうにもならないのだ。

中国語でも「口かせ」をはめると、何言ってるんだかわからなくなる。というよりも発音すること自体、ほとんど不可能になってしまう。同じアジアのお隣さんの国でも、全然違うのだ。

母音が多いだけでなく、発音のしかたからしても、日本語は喉声向きにできている。逆に日本語だからこそ、喉声が完成されたのかもしれない。日本語はつまり「喉語」なのだ。

(中野純『日本人の鳴き声』NTT 出版による)

(注1) 母音: 声が口の中で通路を妨げられずに出される音。日本語では「あ、い、う、え、お」の音

(注2) 口元: 口の周辺

(注3) 不気味: なんとなく気味が悪いこと

(注4) 先つぽ: 先のところ

【問1】 ①「これ」とあるが、何のことか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 母音が多いこと | 2 表情を変えずに話すこと |
| 3 喉から音が出てくこと | 4 発音のしかたが違ふこと |

【問2】 文中の「口かせをはめる」の説明として正しいものはどれか。

- 1 口元を見せないように能面を顔につけること
- 2 口が開かないように、唇を閉じたままにすること
- 3 唇が動かないように、細長いものを横にくわえること
- 4 小さい声でしか話せないように、口のまわりに布をかぶせること

【問3】 ②「喉語」とは何か。

- 1 口元をあまり動かさず、口の奥で言葉をつくる特徴を持つ言語
- 2 口元をよく動かしながら、口の奥で言葉をつくる特徴を持つ言語
- 3 ボールペンを横にくわえると、発音することが不可能になるような言語
- 4 ボールペンを横にくわえて話すと、母音が聞き取りやすくなるような言語

(4) いつの時代も、親は子どもに成長してもらいたいと願っている。社会構造の変動が

比較的少ない時代には、親が覚えている仕事のノウハウや心構えを、そのまま子どもに伝えれば子どもは親の跡を継ぐことができた。かつては、世代が変わっても次の世代がおよそ同じ事を行うことができるようにするための「世代間の伝授」が行われてきた。

しかし、再生産(リプロダクション)を主目的として伝承を行っていた時代とは、現代は事情が異なる。情報革命を核とした世界的な社会構造変革の波の中で、親は子に、上の世代は下の世代に、「何を伝承したらよいのか」がわからにくくなってきている。バブル期の社会的倫理規範の崩壊とその後のバブル崩壊による不況の長期化によって、大人たち自身が子どもたちに対して、「伝えるべきこと」や「鍛えるべきこと」に関して自信を失っている。

大人が確信を持って伝授・伝承すべきものを持たない社会は、当然不安定になる。たとえ子どもたちの世代が、それに反抗するにしても、そのような伝承する意志には意味がある。世によく言われる子どもの問題の多くは、「子どもたちに何を伝えるべきなのか」について大人たちが確信や共通認識を持てなくなったことに起因している。

(齊藤孝「できる人」はどこがちがうのか」筑摩書房による)

(注1) ノウハウ:やり方

(注2) 伝授:伝えること

(注3) 伝承:古くからの制度・風習などを受け継ぎ伝えること

(注4) バブル期:日本で土地や株の値段が急激に上昇した時期(1980年代後半)

(注5) 倫理:行動規範としての善悪の基準

(注6) 起因:それが原因になって、何かが起こること

【問1】①「世代間の伝授」とあるが、どのような伝授が行われていたか。

- 1 親は自分の仕事を自分がやってきたとおりに子どもに教えていた。
- 2 親は子どもが成長できるように自分より難しい仕事をさせていた
- 3 親は社会構造の変動に合わせて、子どもに教える仕事の内容を変えていた。
- 4 親が仕事のしかたや心構えを直接教えなくても、子どもは同じことができた。

【問2】②「『何を伝承したらよいか』がわからにくくなってきている」のはなぜか。

- 1 情報革命により、大人が自信を失うような情報しか得られなくなったため
- 2 バブルが崩壊し不況が続いて、どのようなものを生産しても売れないため
- 3 社会情勢の変化により、正しいと思われていた規範がそうでなくなったため
- 4 世界中の情報が簡単に得られるようになり、子どもの興味が親と反対になったため

【問3】 筆者は、最近の子どもの問題の原因は何だと考えているか。

- 1 子どもに成長してもらいたいと思う親が少なくなっていること
- 2 社会の変化により、大人が子どもに技術を伝える機会がなくなったこと
- 3 子どもが反抗するため、大人が何かを伝える気持ちをなくしてしまったこと
- 4 大人が子どもに何を伝えたらいいかわからず、社会が不安定になっていること

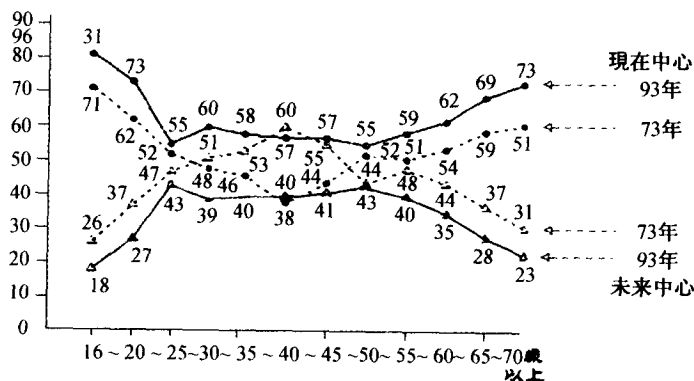
問題Ⅲ 次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)NHK 放送文化研究所では、1973 年から5 年ごとに、生き方、家庭のあり方、政治、宗教、社会正義といったことについて、日本全国の16 歳以上の男女約 5400 名を対象に面接調査を行っている。

この調査の中に、「人によって生活の目標もいろいろですが、リストのように分けると、あなたの生活目標に一番近いのはどれですか。」という質問がある。回答者は次の4つの中から答えを選ぶことになっている。

1. その日その日を、自由に楽しく過ごす。
2. しっかりと計画をたてて、豊かな生活を築く。
3. 身近な人たちと、なごやかな毎を送る。
4. みんなと力を合わせて、世の中をよくする。

下のグラフは、この質問について1973 年と1993 年の結果を比べたものである。ここでは、回答の1と3をまとめて「現在中心」(グラフでは●)、2と4をまとめて「未来中心」(グラフでは△)としてある。



生活目標「現在中心」、「未来中心」(年層別)

(グラフはNHK 放送文化研究所編『現代日本人の意識構造「第四版」』日本放送出版協会による)

【問い】 73 年(……)と 93 年(——)を比べると、30 歳代から 40 歳代についてどのようなことが言えるか。グラフと説明が合っているものを選びなさい。

- 1 73 年では「未来中心」の生き方を目指す人が多いのに対し、93 年では身近な人たちと自由楽しく過ごそうとする「現在中心」の方が多くことから、今の生活を大切に考える傾向が強くなってきたことがわかる。
- 2 73 年では「現在中心」の生き方を目指す人が多いのに対し、93 年では豊かな生活を目標にしてみんなと力を合わせていこうとする「未来中心」の方が多くことから、将来の生活を大切に考える傾向が強くなってきたことがわかる。
- 3 73 年と 93 年のどちらも、今を楽しく生きられればそれでいいという「現在中心」の生き方が、将来のために努力しようという「未来中心」の生き方より重視され、今の生活を中心に考えていることがわかる。
- 4 73 年と 93 年のどちらも、将来のために努力しようという「未来中心」の生き方が、今を楽しく生きられればそれでいいという「現在中心」の生き方より重視され、将来の生活を中心に考えていることがわかる。

(2)化学物質過敏症は、アレルギーと中毒の要素を兼ね備えていますが、明らかな違いは、今までの概念では考えられない極めて微量な物質に反応するということです。少量を徐々に、あるいは一度に多量にその物質を浴びるとその後、ごく微量でも反応するようになります。

例えば中毒なら 100 万分の 1 グラム(ppm)の単位で発症しますが、これは 10 億分の 1 (ppb)とか、1 兆分の 1 グラム(ppt)の単位で症状が現れるのです。

中毒ではほとんどの場合、摂取量と症状の現れ方に個人差がなく、量が増えるに従って重くなり、一定量を超えると死に到ります(致死量)。ところが、化学物質過敏症の場合は、同じ環境にあっても症状が出たり出なかったりと個人差が大きく、スギ花粉症で苦しんでいる人の隣に平気な人がいるというアレルギーに似ています。

(難波龍人「家が原因で起こることが多い化学物質過敏症」

『婦人之友』第 93 巻第 2 号 婦人之友社による)

(注 1) 過敏:敏感すぎること

(注 2) アレルギー:ある物質に対して敏感に反応すること